



◆学校教育相談を受け付けています。

大崎町教育委員会では、いじめや不登校など、子どもの教育上のさまざまな悩みについて、相談に応じています。

経験豊かな教育相談員が、悩みの問題解消のため、いっしょに考えたりアドバイスをしたりしています。お気軽に電話（☎476-1111内線402）もしくはメール（本町ホームページから送信できます。）にてご相談ください。

◆第2回大崎町立中学校統合準備委員会が開催されました。

新生『大崎中学校』の校章や校歌、制服など様々な調査検討事項の決定を行う『大崎町立中学校統合準備委員会』が、8月21日（月）に中央公民館大ホールにて開催されました。

準備委員会では、各専門部会からの調査検討の結果報告を受け、下記の事項を決定いたしました。今後も決定事項等について、本町ホームページ等でお知らせしていく予定です。

決定事項

- ・校訓 『向学 剛健 共生 チャレンジ大崎中』
- ・PTA組織・規約・運営等の基本事項

まぶい窓おしえの庭 NO.9

子ども達に接する親と大人

大崎町スクールソーシャルワーカー  
新宮 邦久

子どもたちといっても幅広いと思いますが、1歳の子どものであっても大人を見分ける力を持っています。子ども達は大人以上に観察力に優れ、敏感に大人の感情や心理を見破る事ができると思います。子どもの成長と共にこの力は少しずつ大きく、そして使い分けができるようになってきます。

『優しい大人』へはニコニコと笑い近づいてきますが、優しすぎると甘えやわがママが酷くなり、子育てをする上で非常に厄介なことになります。逆に、『厳しく怒りすぎて褒める事を忘れた大人』へは段々寄りつかなくなり、コミュニケーションが取りづらくなります。

この両者を否定はしませんが、『すぎる』事によって、子ども達の成長に悪影響を与えてしまうことも否めません。例えば3歳の子どもの叱る時、長時間お説教をしても退屈なだけで頭に何も残らないのではないのでしょうか。大切なのは、短時間で子どもでも理解しやすい表現を用い、何が悪いのかを訴える。表情は怒っている顔。この時、演出するぐらいの気持ちのゆとりが欲しいものです。逆に褒める時には、「よくできた。」「上手。」等分かりやすい言葉を何度も使い、にこやかな表情で接する。褒められる事で、子どもは認めてもらえた事、認めてくれる人がいる事を知り、自分の存在に安心を感じる事ができるのです。

私たち大人は『良い加減・良いさじ加減』を意識し、子どもに事の善悪を教えなければなりません。10年程前の子育て研修の際、講師が『躰や基本的生活習慣は子どもの我欲が芽生える前に行っておく事』とお話をされました。まさに今、この言葉が必要なのではないのでしょうか。

